



ippo(いっぽ)

【研究主題】 児童生徒が「経験から考え、行動する力」を高める授業づくり
～「何を学んだか」「何ができるようになったか」という視点を通して～

公開研究会等の紹介②

公開研究会等に参加された先生方から各校の取り組みを紹介していただきます。今年度は学習指導要領改訂のキーワード「主体的・対話的で深い学び」の視点を生かし、「学びの実感」や「学びの連続性」に重きを置いた研究を行っている学校が多いようです。

大曲支援学校せんぼく校 公開研究会

高等部 富田 昌裕



研究主題【地域の特色を生かした教育課程の編成

～観光地の豊富な資源を活用し、社会参加の力を育む～】

・観光科は、観光に関する知識的・基本的な技術の習得を図り、観光に関する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。また、地域の一員としての意識やふるさとを愛する心を育てることを目標としている、せんぼく校独自の教科（学校設定教科）である。各学年ごとの目標や学習内容を設定し、1年から3年生へと段階的に学習を計画し取り組んでいる。地域理解、地域資源の活用、地域のために何ができるのかを考え、進めている。観光科の授業を通して、校外での活動が充実し、人との関わる力が身に付いてきている。今後、観光業と絡めながら、卒業後の進路先へとつなげていきたいと考えている。

○公開授業（高等部3年 観光科）

- ・授業の前半は、秋に行うイベントについて、春に行った経験を基に、観光客を呼び込むためのアイデアを出し合った。授業の後半ではゲストをもてなすための準備活動を行う学習活動だった。
- ・「観光協会」の方をはじめ、お菓子製作に関わった方をゲストそしてお招きし、アイデアの報告会を行った。自分たちが考えたことが、観光協会の方などに直接伝えることができる場面が設定されていた。

比内支援学校 公開研究会

小学部 今野 菜穂子



研究主題【児童生徒の「学び」と「学んだことの活用」を生み出す授業づくり

～「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて～】

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくり、「観点別学習状況の評価」を取り入れた目標の設定と評価、エピソード記録を活用した学習状況と指導の評価、の3つを通して、授業の質を高める研究が行われていた。指導の形態の目標と個別の目標との整合性を確認するシートを用いて小単元のレベルまで観点別評価の視点で目標を整理したり、年5回の年間指導計画検討会で前年度からの引き継ぎや学習指導要領との照合の部分まで丁寧に行ったりしていた。

☆公開授業について（小学部5年 生活単元学習）

手作りおもちゃを集めた遊び場をつくり、1～3年生を招待してショーを披露したり、一緒に遊んだりする授業であった。教材研究と教具作りが素晴らしく、プレイルームに手作りのメリーゴーランドや人形劇の舞台などが設置されており、別世界で楽しく遊べる場が作られていた。制作活動でも下学年招待の場面でも、自分からできる内容や手立てが工夫されており、子どもたちが十分に動いていた。分科会の協議では、意図的に子ども同士の協働を生む活動の設定、子どもたちが学んだことを次につなげて生かす評価や記録の在り方などが話題となった。